

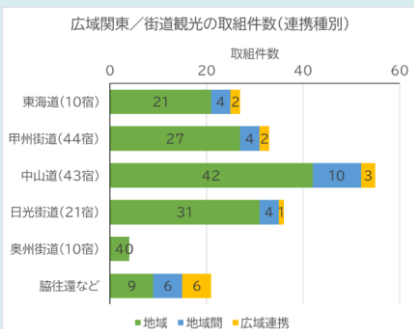
事業目的

関東運輸局では、コロナ禍で疲弊した広域関東の観光振興施策として、五街道を活用した『江戸街道プロジェクト』を立ち上げ、「『江戸街道プロジェクト』実施方針(案)」をとりまとめた。本実施方針(案)に基づき、街道をテーマとした事業事例及び観光資源等を発掘する調査を行い、新たな観光振興施策として広域関東を「江戸街道」というテーマ等によってブランディングし、効果的に国内及び海外へ発信し誘客を促進させるとともに、広域関東として地域の特性を活かしながら、観光客が滞在又は周遊でき、消費拡大につながる仕組みづくりを行うことを目的とした。

街道をテーマとした既存取組事例の調査事業

『江戸街道プロジェクト』の推進にあたっての基礎資料として、広域関東内外で取り組まれている活動の実態を把握した。

- ①**基本収集**：街道観光に係る取組事例をWEB調査等により収集した。
- ②**好事例に関する詳細調査**：好事例として抽出した5事例程度について、文献・資料調査やヒアリング調査により、ターゲット層やニーズの特性等に関する詳細調査を行った。



広域関東内の取組件数

(凡例：地域、地域間連携、広域連携)

詳細調査対象：

<広域関東内>

- ・御宿場印プロジェクト
- ・埼玉六宿
- ・こしがや「まち未来創造塾」
- ・妻籠宿保存事業
- ・城下町のまちなみを活用したコース造成(川越市)
- ・和田宿再開発プロジェクト

<広域関東エリア外>

- ・昇竜道プロジェクト
- ・シュガーロード
- ・古地図を片手にまちを歩こう
- ・まちなか西国街道 等

市場のニーズ調査事業

調査方法：WEBアンケート
回収数：1,000サンプル
対象条件：街道観光に関心がある人

主な設問：

- ①街道観光の来訪経験
- ②街道観光の意向
- ③世代別の街道観光のイメージ
- ④交通手段 等



街道観光イメージの世代間比較

街道をテーマとした既存旅行商品の調査事業

調査方法：ヒアリング 対象事業者：旅行関連会社4社
調査内容：街道をテーマとした旅行商品の顧客、造成及び地域連携に関係する意向等について聞き取り。

主な結果

- ・商品展開は街道踏破がテーマで主な顧客はリタイア世代。
- ・地域情報の収集は自社で実施することが多い。
- ・企画段階から地域の情報を入手できる仕掛けが望まれる。

連携可能なコンテンツの整理

事例等から広域関東エリア内の連携を推進するために活用できる手法を整理した。

- ・コレクション性のある媒体
- ・地域情報の一元集約
- ・周遊した結果に特典
- ・地域情報の一元発信
- ・“地域ならではの”を集めたイベント

街道の成り立ちや歴史的な背景の整理

五街道ごとに成り立ちや歴史的な背景について既存文献に基づき整理した。

また、「江戸街道」全体を象徴するロゴマークを作成した。



街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討

調査結果に基づき、以下の項目を立てて、街道を活用した広域関東の新たな観光振興策(案)を検討した。

<項目>

1. 広域関東観光の現状と課題
2. 広域関東観光のポテンシャル
3. 広域関東における観光推進の方向性
4. 広域関東の新たな観光振興策「江戸街道プロジェクト」
5. 「江戸街道プロジェクト」の基本方針

次年度の進め方の検討

次年度には、「『江戸街道プロジェクト』実施方針(案)」に示されたロードマップを前提にしつつ、本事業の成果を踏まえた「誘客に繋がる具体的な事業を実施、効果と課題を把握」といった実証業務を想定している。本事業ではその仕様及びスケジュール等を検討した。

<検討結果>

1. 次年度事業案(ウォーキング誘導アプリ、旅行者による魅力発信、投稿機能アプリ等)
2. スケジュール(江戸街道プロジェクトロードマップ)
3. 補助金等の情報(観光庁等省庁の補助金)
4. 推進体制づくり(広域関東における街道観光情報の一元集約・一元発信)